

米・イラン 国は対立していても

【ドーハ共同】サッカー・ワールドカップ(W杯)カタール大会

World Cup Qatar 2022 杯 カタール大会



試合を終え、健闘をたたえ合うイラン(中央)と米国の選手たち=30日ドーハ(共同)

で29日、国同士が長年、敵対する米国とイランが決勝トーナメント進出を懸けて激突し、米国が接戦を制した。強い政治色が注目された試合は、両国の選手が倒れた相手に手を差し伸べるなど、フェアプレーで全力を尽くして好ゲームに。サポーターは大きな拍手で健闘をたたえた。

W杯で対戦 選手もサポーターも敵意なく



試合前、写真に納まる米国(左)とイランのサポーター=29日、ドーハ(共同)

1998年フランス大会以来、W杯で2度目の米イラン戦が行われたドーハのアルスママ競技場。試合前、米国選手がイラン選手の列に歩み寄り、ハイタッチを交わした。試合が始まると目立ったラフプレーはなく、激しくぶつかり合って倒れた相手のけがを気遣う選手の姿

もみられ、ピッチ上に敵意はなかった。サポーターは攻守の切り替わりに一喜一憂。国旗を揺らし「USA!」「イラン!」と大歓声で応援した。終了後、敗退が決まったイラン選手がピッチに次々とへたり込むと、米国選手が歩み寄って励ました。